

令和2年度活動状況

1. 令和2年7月豪雨による土砂災害調査

地盤工学会九州支部では、各県で発生した河川の氾濫、土砂災害に対して調査団を結成して、被害状況の調査を行い、今後の防災対策に対する提言を行う予定、現在その報告書を取りまとめ中である（令和3年3月現在）。

福岡県では、福岡大学工学部の村上哲教授を団長に、筑後地方、特に八女地方の山間部を中心に発生した土砂災害について現地調査を行った。ジオセーフとして、活動した主な箇所は以下の通りである。

- 県道白木上辺春線に生じた大規模崩壊（八女市立花町）
- " 地すべり性崩壊による擁壁の転倒
- " 路体崩壊（盛土部）
- 八女市立花町のオレンジ・ロードの大規模な地すべり性崩壊
- 広川町赤藪山南麓の茶畑に生じた大規模な地すべり性崩壊
- 八女市星野村三坂地区の地すべり

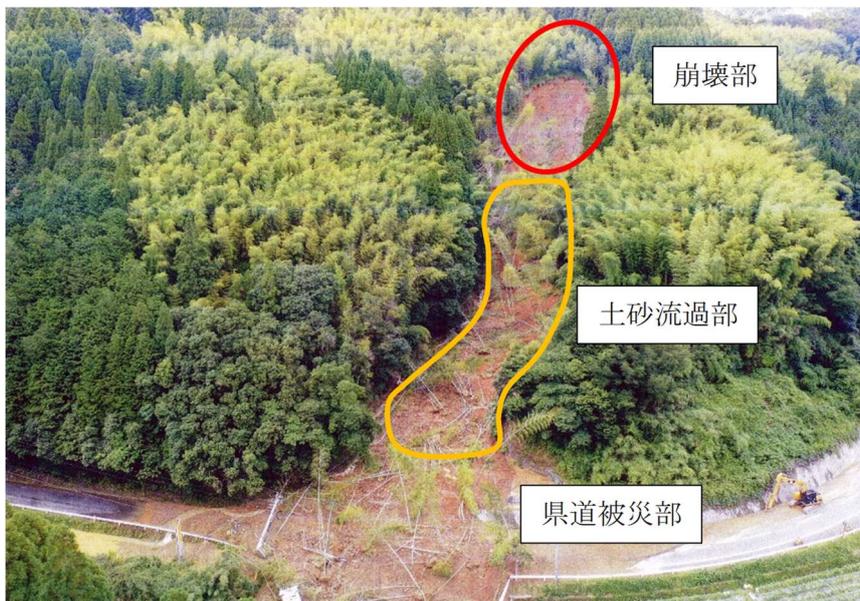


写真1. 1 県道白木上辺春線の崩壊状況

2. 福岡県川と水の会での講演

ふくおかの川と水の会の要請を受けて、令和2年11月4日（水）に博多サンヒルズホテルで、下記の内容で講演を行いました。

講演テーマ：「福岡県の地質概要と地盤リスク」

（*講演資料は pdf 版で掲載しています）

WEBで案内された内容は以下の通りです。

例年総会と合わせて開催しています講演会を当初の下記のとおり開催します。

- テーマ：「福岡県の地質概要と地盤リスク」
～ 土木地質から見た福岡県が抱える問題～
 - 講師：矢ヶ部 秀美 氏（NPO法人 研究機構ジオセーフ 理事）
 - 場所：博多サンヒルズホテル 2F 瑞雲の間 A
（福岡市博多区吉塚本町13番55号 TEL 0800-100-1176）
 - 日時：令和2年11月4日（水）15：10～17：00
（受付 14：30～）
 - CPD：講演終了後に受講・参加証明書を受付で配布します（当講演会は（一社）建設コンサルタンツ協会のCPDプログラム認定を受けています）。
 - 参加費：無料（会員以外の方もお誘い合わせのうえ、ご参加下さい）
- ※ コロナウィルスの影響で入場者数を制限しています。講演資料を会場内の席に置いてありますので、資料のある席に着席してください。
- ※ 当日体調が悪い方は講演参加を見合わせてください。
- ※ 会場は換気のためドアを開放し、換気用のファンを設置します。マスクの着用をお願いします。

3. 西九州自動車道道路法面施工技術検討委員会への参画

国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所の委員会

（委員会設立趣旨）

2018年10月に供用中の西九州自動車道で切土のり面崩壊が発生した。この崩壊箇所周辺は、古第三紀の堆積岩類からなっており、その特徴的な風化特性や長大切土による地下水環境の変化などの複雑な要因が絡んで崩壊に至ったとされている。

西九州自動車道伊万里松浦道路・伊万里道路においては、今後も設計・施工が進められていく予定であり、この崩壊を教訓として、古第三紀の堆積岩類が潜在的にもつ崩壊要因を明らかにして、それを踏まえた調査設計施工マニュアルの作成を目指すものである。

（委員名簿）

委員長	安福 規之	九州大学	教授
委員	池見 洋明	日本文理大学	准教授
〃	石蔵 良平	九州大学	准教授
〃	小串 俊幸	国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所	所長
〃	落合 英俊	九州大学	名誉教授
〃	佐藤 研一	福岡大学	教授
〃	日野 剛徳	佐賀大学	教授
〃	矢ヶ部秀美	NPO法人研究機構ジオセーフ	理事
〃	横山 浩	国土交通省九州地方建設局道路部	特定道路工事対策官

(活動状況)

第1回 西九州自動車道路のり面施工技術検討委員会

令和2年10月9日(金)

検討内容： ・西九州自動車道事業概要
・道路土構造物の考え方
・検討方針と検討事項

第1回 サブワーキング・・・ 施工現場巡検と検討

令和3年3月10日(水)

第2回 西九州自動車道路のり面施工技術検討委員会

令和3年3月18日(木)

検討内容： ・サブワーキングでの指摘事項と対応方針
・切土のり面の調査・設計・施工・維持管理の全体フロー
・マニュアルの構成のイメージ

4. 2020年海域港湾空港技術報告会の開催

コロナ禍のため、報告会は、2021年2月26日(金)、13:00~17:45において、オンライン(TEAMS)で開催されました。九州整備局港湾空港部および九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門主催で、当ジオセーフも共催させていただきました。

参加者は、オンライン開催で実数が定かではありませんが、150名以上の方々が参加されたことがわかっています。

報告会は、遠藤仁彦九州地方整備副局長のご挨拶から始まり、善理事長が報告会の趣旨について説明されました。

第I部は、九州大学大学院 工学研究院 附属アジア防災研究センター教授の橋本 典明先生による、「波浪の観測・解析・予測における方向スペクトル」と題した講演をいただきました。

第II部は、注目度の高い技術的取り組みの紹介として、洋上風力発電に関する、現在の政策や国内外の動向についての3編の報告がなされました。

第III部は、産官学の技術展望と題して、7編の技術報告がなされています。

最後に当ジオセーフの江頭監事に締めて頂きました。

* 2021 海域港湾空港技術報告会 in福岡のリーフレットと報告会のプログラムを資料として掲載しています。

5. その他

九州大学クラウドファンディングプロジェクトに寄付を行いました。代表者のお一人である安福理事から、プロジェクトに関する資料が届いていますので、その資料を掲載させて頂くことにしました。

資料のタイトルは以下の通りです。

「モンゴルで住民と共に取り組む持続可能な砂漠化防止システム」